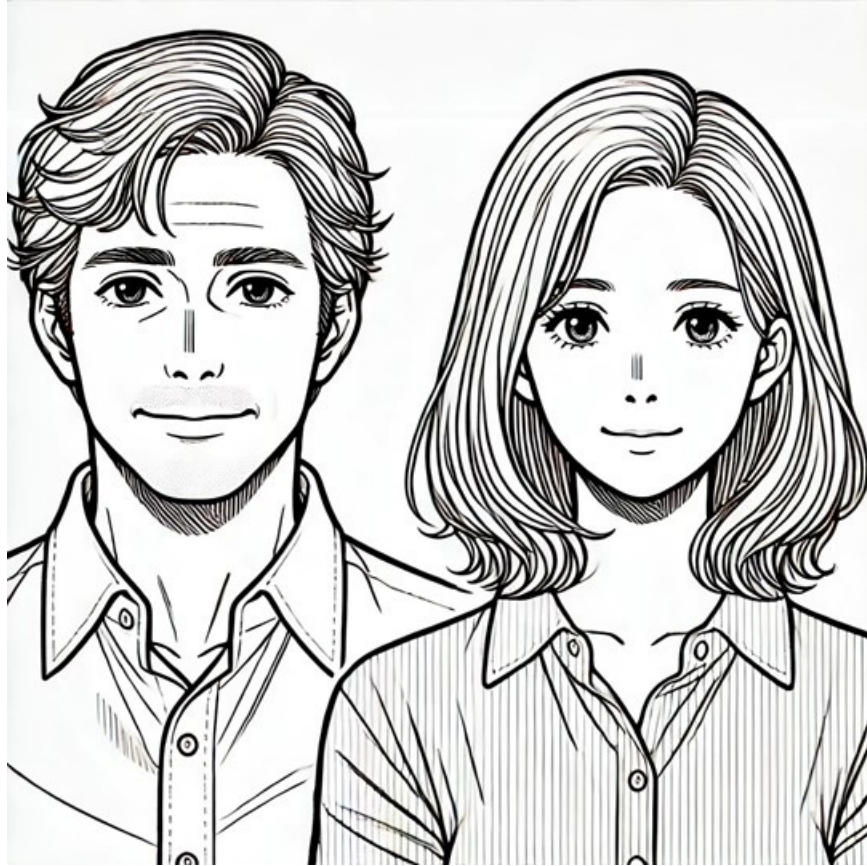




2025年の君たちへ

私たちが生きている今は2045年、
つまり、私たちは20年後の君たちだ。

今日は君たちに伝えたいことがあるんだ。
少し聞いてほしい。



ちょっと唐突だけど、君たちの世界にはまだゴミ箱があるよね？

使い終わったものの多くは捨てられ、街のあちこちにゴミ箱が置かれているはずだ。



今日、子どもに「ゴミって言葉、知ってる？」と聞いてみた。

でも、子どもはよくわからなかったみたい。

2045年は、家にも、学校にも

ゴミ箱というものがない。

家でも学校でも、使い終わったものは

すべてリサイクルされている。

昨日飲んだジュースのボトルも、いずれ新しいペンや

ノートになって、また子どもの手元に戻ってくる。





でも、昔は違った。

昔は、街のあちこちにゴミ箱があって、

使い終わったものはどんどん捨てられていた。

そのせいで、街にはゴミがあふれ、

環境が悪くなった時期もあったね。

君たちの時代は、リサイクルは進んでいるけど、

まだ「捨てること」が当たり前だろう。





今では、すべてのものが生まれ変わる。

それが当たり前なんだ。

そして、変わったのは、それだけじゃない。

どんな仕事も大切にされ、働く人は誇りを持っている。

どんな個性も尊重される。

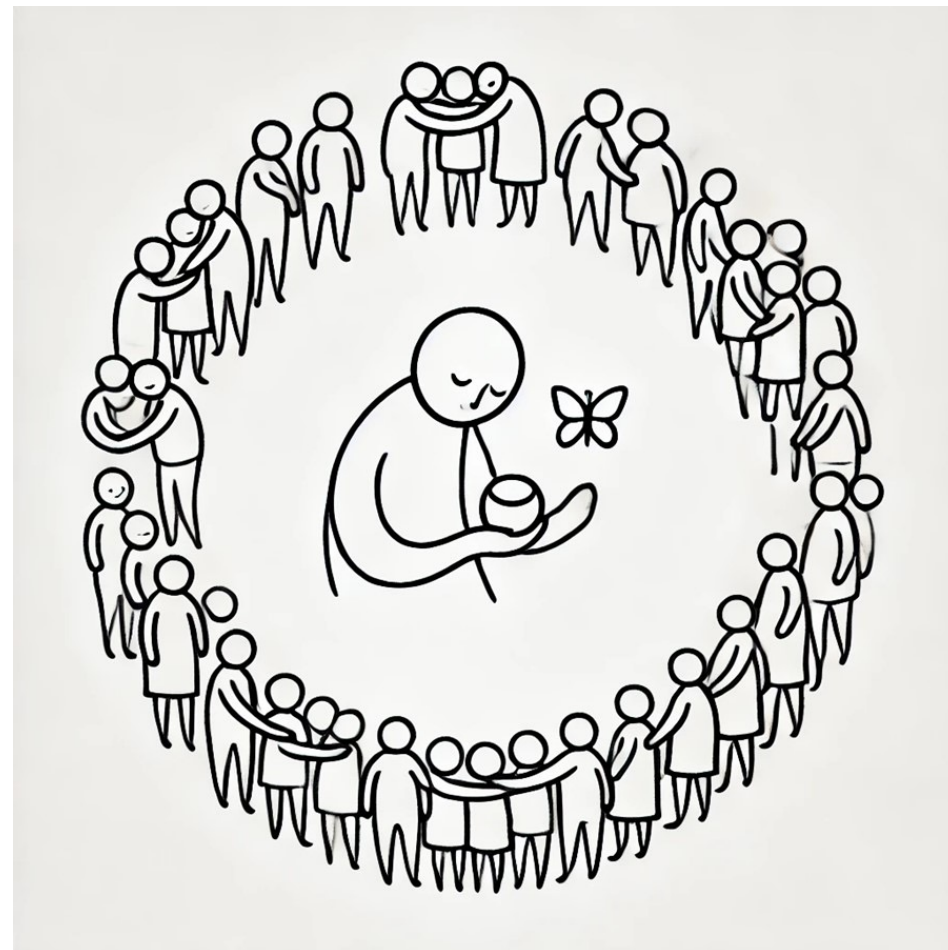
つまり、人やモノへの感謝の気持ちが溢れているんだ。



ゴミがなくなったことで、学校でのいじめや
社会の差別も減ったのかもしれない。

捨てられるものがない社会では、
人も物もすべてが大切にされる。
物を大切にする心と、人を大切にする心。
根っこは同じだったんだ。

そのうち、捨てるという言葉も忘れらさるだろう。





でも、ここまで来るのは簡単じゃなかった。

困難も、苦しい時期もあった。

でも、君たちの小さな努力の積み重ねが

確かに未来を変えたんだ。

だから、どうか、君たちの今をあきらめないで。

どんなに小さな一歩でも、

それは未来につながっている。





私たちはこの世界が好きだ。

20年前の私たち、つまり君たちには
どれだけ感謝してもしきれない。

まだまだできることはあるはずだ。

今度は、次の未来を生きる子どもたちに
何をしてあげられるだろう？

とても楽しみだ。